

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	アジュバントの in vitro 安全性・有効性ハイスループットスクリーニング系の創出を目指した研究
代表機関名	国立感染症研究所
研究開発代表者名	佐々木 永太
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065846.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、若手研究者を支援する体制が組織され、研究計画を見直しながら、in vitro および in vivo におけるバイオマーカー遺伝子を用いたワクチン・アジュバントの安全性・有効性評価系の構築に取り組み、スクリーニング系の基礎を構築するとともに IgA 産生誘導活性を持つアジュバント候補化合物を見いだしたことは評価できる。

今後、本研究成果をもとに、アジュバントの安全性・有効性ハイスループットスクリーニング系の創出の可能性についてさらなる検討を進めて頂きたい。

以上